



事業計画及び成長可能性に関する事項

ブレインズテクノロジー株式会社

2021年9月

01 会社概要

02 特徴・強み

03 市場動向

04 成長戦略

会社概要

社名	ブレインズテクノロジー株式会社 Brains Technology, Inc.
所在地	東京都港区高輪3-23-17 品川センタービルディング 4F
設立	2008年8月8日
資本金	586,156千円
従業員数	45名（2021年7月末）
事業内容	エンタープライズAIソフトウェア事業 - データ検索製品の開発・提供 - データ分析製品の開発・提供



企業活動の継続性と生産性の劇的な向上に貢献する

先端技術を活用した実用的なサービスを創り続けています。



明るい未来を創造する技術集団として

先端技術の恩恵を、いち早く・より多くのお客様に提供するために、
製品・サービスとして出荷することにこだわります。

豊富なエンジニア経験を活かし先端技術の実用化を実現する取締役と、グローバル企業での経営経験をもつ社外取締役で事業を牽引



代表取締役 濱中佐和子（戸籍名：齋藤佐和子）

東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了。フューチャーアーキテクト(株)のR&D部門でミドルウェアの開発に従事後、新事業部を立ち上げ部門運営から案件支援まで幅広く実務をこなす。2008年に当社を設立。



取締役（CTO） 中澤宣貴

東京工業大学大学院土木工学専攻修士課程修了。フューチャーアーキテクト(株)のR&D部門でミドルウェアの開発に従事。2009年に当社入社。2013年より研究開発部門の統括責任者として、検索エンジン、データ分析基盤等の製品群を輩出。



取締役（CFO） 河田哲

神戸大学経営学部卒業。日本電信電話(株)にてシステム設計、R&Dを担当後、フューチャーアーキテクト(株)でシステム設計、IT評価分析に従事。2010年に当社入社、財務・マーケティング担当の執行役員を経て2017年より現職。



取締役（COO） 林琢磨

東京工業大学工学部卒業。フューチャーアーキテクト(株)で数々の大規模システムの構築・運用に携わり、フルスタックエンジニア、アーキテクトとして活躍。2015年に当社入社、データ分析事業の執行役員を経て2017年より現職。



取締役（CPO） 榎並利晃

武蔵工業大学卒業。日本電信電話(株)、ソニー(株)で幅広いシステムの開発・運用を経験後、アマゾンウェブサービスジャパン(株)でIoT・AI分野における事業開発やアライアンスを推進。2019年に当社入社。事業開発やアライアンスの領域で、事業拡大を担う。



社外取締役 日置健二

トーメン（現豊田通商）でキャリアをスタート後、米国大学院で修士終了（経営学、情報工学）。コンサルティングファーム、投資ファンド、IPSoft Japan(株)代表取締役社長、Coltテクノロジーサービス(株)代表取締役社長兼アジア代表を経て、同社最高顧問。2020年よりプレインズテクノロジーの社外取締役に就任。

上場企業の監査経験と高い専門知識を有するチームによるガバナンス体制



社外常勤監査役 鈴木誠二郎

京都大学法学部卒業、1971年三井銀行（現三井住友銀行）入行、国立支店長、次期システム開発室長、個人統括部長歴任後、さくら情報システム(株)、室町不動産(株)各代表取締役専務、ピリングシステム(株)常勤監査役を経て、2017年当社社外監査役に就任。



社外監査役 前田昌太郎(公認会計士)

有限責任監査法人トーマツにて、会計監査、IPO支援、スタートアップ・ベンチャー支援業務に従事。トーマツベンチャーサポート(株)、(株)アグリメディアを経て、前田昌太郎公認会計事務所を設立。2019年当社社外監査役に就任。

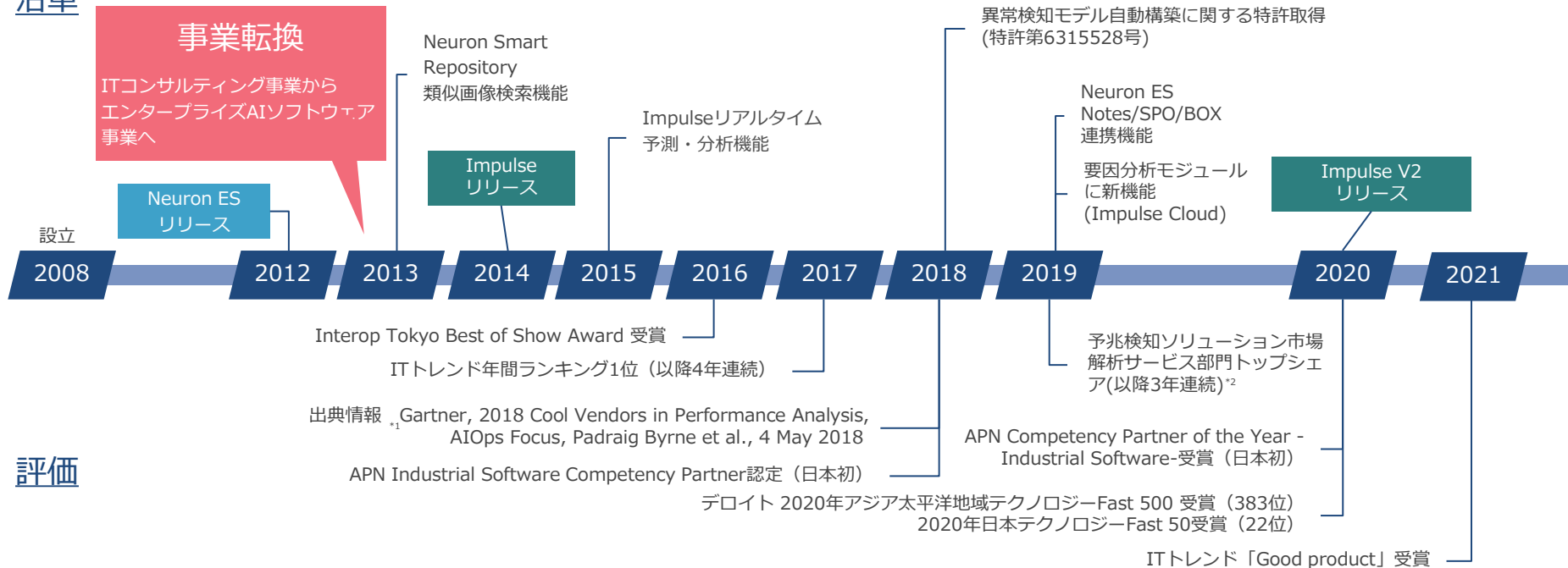


社外監査役 小泉由美子^{*}(弁護士)

弁護士として冬木健太郎法律事務所にて勤務した後、GVA法律事務所に入所。学生時代にITベンチャー企業に参画して法務部門を担当した経験を持ち、分野にとらわれず、様々な側面と視点から企業の躍進と理念実現をサポート。2019年監査役に就任。

^{*}弁護士職務上の氏名：本間由美子

沿革



評価

¹⁾ GARTNER COOL VENDORのバッジは、Gartner Inc.または関連会社の商標およびサービスマークであり、同社の許可に基づいて使用しています。All rights reserved.カートナーは、カートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーユーザーに勧告するものではありません。カートナー・リサーチの発行物は、カートナーのリサーチ&アドバイザリの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。カートナーは、商品性または特定目的への適合性の保証を含む、本リサーチに関する一切の責任を、明示または黙示を問わず負うものではありません。
²⁾ 出展：デロイト トーマツ ミック経済研究所「予兆検知ソリューション市場の実態と将来展望 2021年度版(2021年6月)」 <https://mic-r.co.jp/mr/02080/>、
「予兆検知ソリューション市場の実態と将来展望 2020年度版(2020年3月)」 <https://mic-r.co.jp/mr/01810/>、
「予兆検知ソリューション市場の実態と将来展望 2019年度版(2019年2月)」 <https://mic-r.co.jp/mr/01540/>



- 出典情報 Gartner, 2018 Cool Vendors in Performance Analysis, AIOps Focus, Padraig Byrne et al., 4 May 2018 *



- 国内初「AWS 産業用ソフトウェアコンピテンシーパートナー」に認定
AWSコンピテンシープログラムはAWSに関する技術的な専門知識・カスタマーサクセスを実証されたAWSパートナーネットワーク（APN）のアドバンスト・プレミアパートナーに提供されるプログラム。「Impulse」の製造業分野での専門技術や市場優位性、顧客成功事例が評価され、産業用ソフトウェアの分野では日本で当社のみが認定。（2021年4月現在）



- デロイト 2020年アジア太平洋地域テクノロジーFast 500 383位
企業の成長性を知るベンチマークとして世界各国で展開されている成長企業の顕彰プログラム。テクノロジー・メディア・通信業界の企業を対象とし、過去3決算期の売上高に基づく成長率のランキングに基づいて選出（「日本テクノロジーFast 50」では22位を受賞）。

*GARTNER COOL VENDORのバッジは、Gartner Inc.または関連会社の商標およびサービスマークであり、同社の許可に基づいて使用しています。All rights reserved.ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するようテクノロジーユーザーに助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナーのリサーチ&アドバイザリの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、商品性または特定目的への適合性の保証を含む、本リサーチに関する一切の責任を、明示または黙示を問わず負うものではありません。



- 予兆検知ソリューション市場の解析サービス市場で3年連続シェアNo.1獲得*
デロイト トーマツ ミック経済研究所が発表した「予兆検知ソリューション市場の実態と将来展望」（2019年～2021年度版）において、Impulseが3年連続トップシェアを獲得。



- ITトレンド年間ランキング4年連続1位
株式会社イノベーションが運営する法人向けのIT製品比較・検討サイト「ITトレンド」（1,000万人以上が利用する、国内最大利用経験率No.1サイト）のエンタープライズサーチ部門において、資料請求数4年連続1位を受賞。製品としての知名度は着実に向上中。



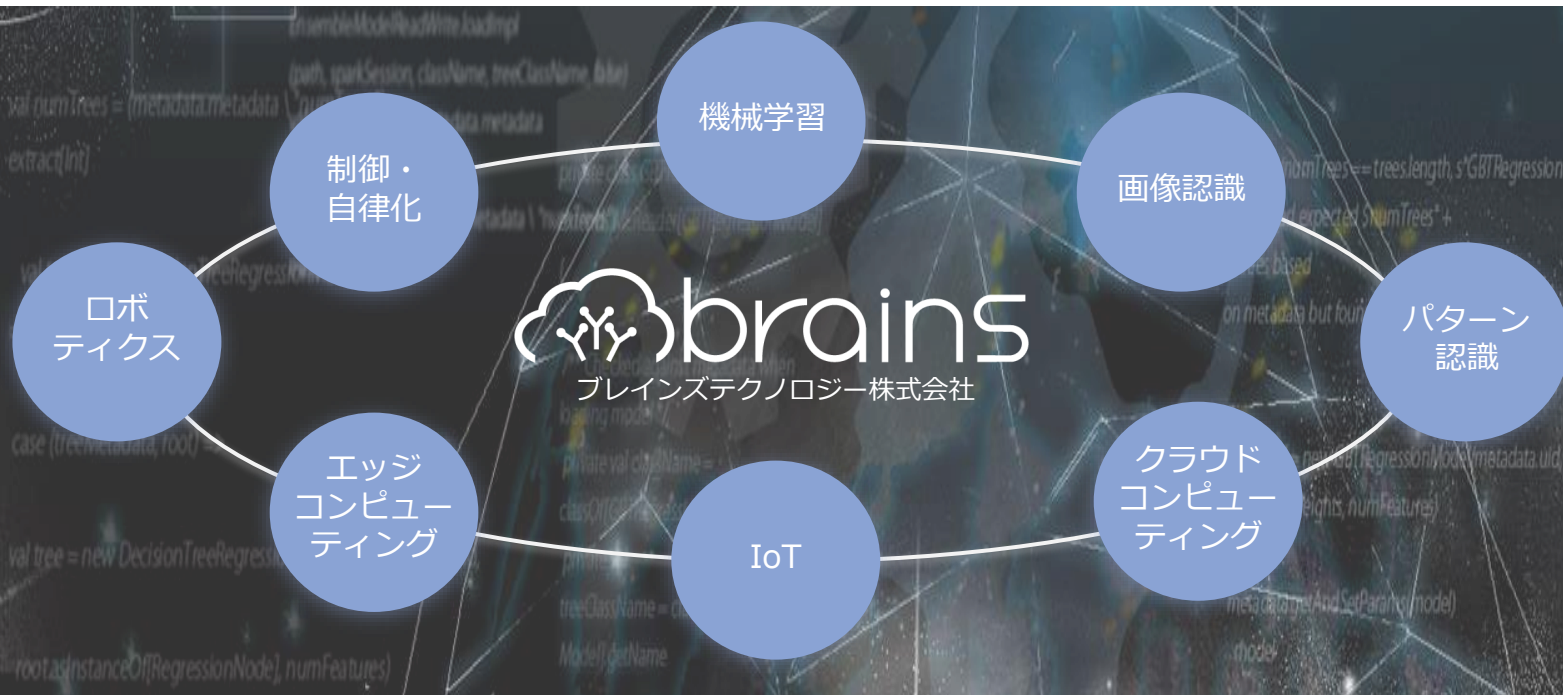
- 「Amazon Partner Network Competency Partner of the Year -Industrial Software-」を受賞
1年を通じて、特に顕著な功績を残したAPNパートナーを表彰する制度。製造業のお客様において品質要因分析や外観検査、生産工程の異常検知など数多くの商談を獲得、Industrial IoT領域でのビジネス功績が認められた。



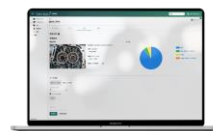
* 出典：デロイト トーマツ ミック経済研究所「予兆検知ソリューション市場の実態と将来展望 2021年度版(2021年6月)」 <https://mic-r.co.jp/mr/02080/>、 「予兆検知ソリューション市場の実態と将来展望 2020年度版(2020年3月)」 <https://mic-r.co.jp/mr/01810/>、 「予兆検知ソリューション市場の実態と将来展望 2019年度版(2019年2月)」 <https://mic-r.co.jp/mr/01540/>
予兆検知ソリューション市場とは、AIによる予兆検知の手法を用いたソリューションを対象とした市場であり、その中の解析サービス市場とは、クラウドで提供される機械学習エンジンやディープラーニングエンジンを使った予測モデルの作成、さらにその予測モデルを使ったサービス市場を指している。

企業がデジタル変革を加速するための「AI」を実装するソフトウェア

企業が機械学習やAIを内部に組み込み日常業務に実装し「データ活動の機動性を獲得」することが重要と捉える



開発スピードと価格競争力を支える AIフレームワークと基盤技術で創り続けるソフトウェア



Impulse



Neuron
Enterprise Search

Enterprise AI Apps
(ソフトウェア)

異常検知/
不良品検出

要因分析

外観検査

シミュレー
ション

エンタープライズ
サーチ

ファイルサーバ
分析

Enterprise AI FW^{*}
(AIフレームワーク)

Brains ML Framework

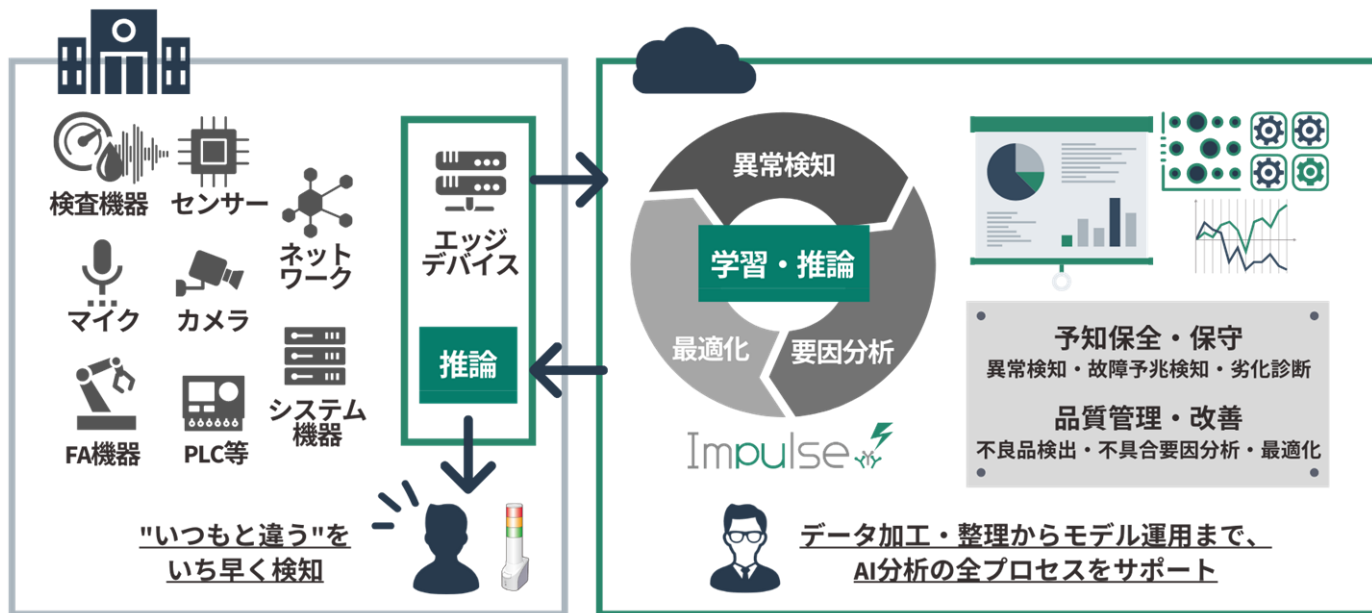
*データ分析プロセスで必要となる機能の特許技術とともに抽象化した形で利用できるフレームワーク

Enterprise AI Core^{**}
(基盤技術)

Brains Core Layer

**クラウドやオンプレ上でAI機能を展開するための抽象化レイヤ。データ管理、ユーザ管理、バッチ処理、クラスタなどの基盤機能を提供

「いつもと違う」を検知する、オールインワンのAIプラットフォーム



センサーや動画像など企業内に散在する膨大なデータを活用できるようにすべく、収集・加工からモデル構築・運用までのAI分析の一連のプロセスをサポートするプラットフォームを提供

株式会社アイシン



生産ラインの状態監視

- 生産設備から出力される膨大なデータを活用した状態監視基盤を構築。
- オートモデリング機能によりわずか1週間でモデルを構築し、運用開始から2週間ほどで“いつもと違う”状態を検出。生産ラインの長期停止リスクを回避することに成功。
- 2年以上の本番運用実績と、他ラインへの展開、定着化を達成。

JFEエンジニアリング株式会社



プラント操業向けデータ解析基盤

- AI・ビッグデータを活用した、運転障害の未然防止やトラブル時のプラント操業支援に向けてデータ分析基盤を構築。
- 3日前に異常予兆を検知し、また要因分析で示された“検知された理由”が実際の運転知識と一致した。
- 今後もAWSにデータを蓄積しながらプラント展開を進めていく。

「探す」をもっと身近に、簡単にする、企業内検索エンジン

「探す」業務の効率化
〈ホワイトカラーの生産性向上支援〉

ファイルサーバ イントラサイト
box notes DB
Microsoft
SharePointOnline

製造業 建設業 情報通信業

The image shows a laptop displaying the Neuron Enterprise Search interface. To the left, a callout bubble lists various data sources: File Server, Intranet, box, notes DB, Microsoft, and SharePoint Online. To the right, a blue box highlights the product's value proposition: 'Find' business efficiency and support for white-collar productivity. Below this, three icons represent the target industries: Manufacturing, Construction, and Information & Communications.

企業内のファイルサーバやポータル、オンラインストレージなどに保存されている文書やデータを横断的に一括検索。自然言語処理やリコメンド機能により精度の高い検索を実現

清水建設株式会社

子どもたちに誇れるしごとを。



全社横断検索プラットフォーム

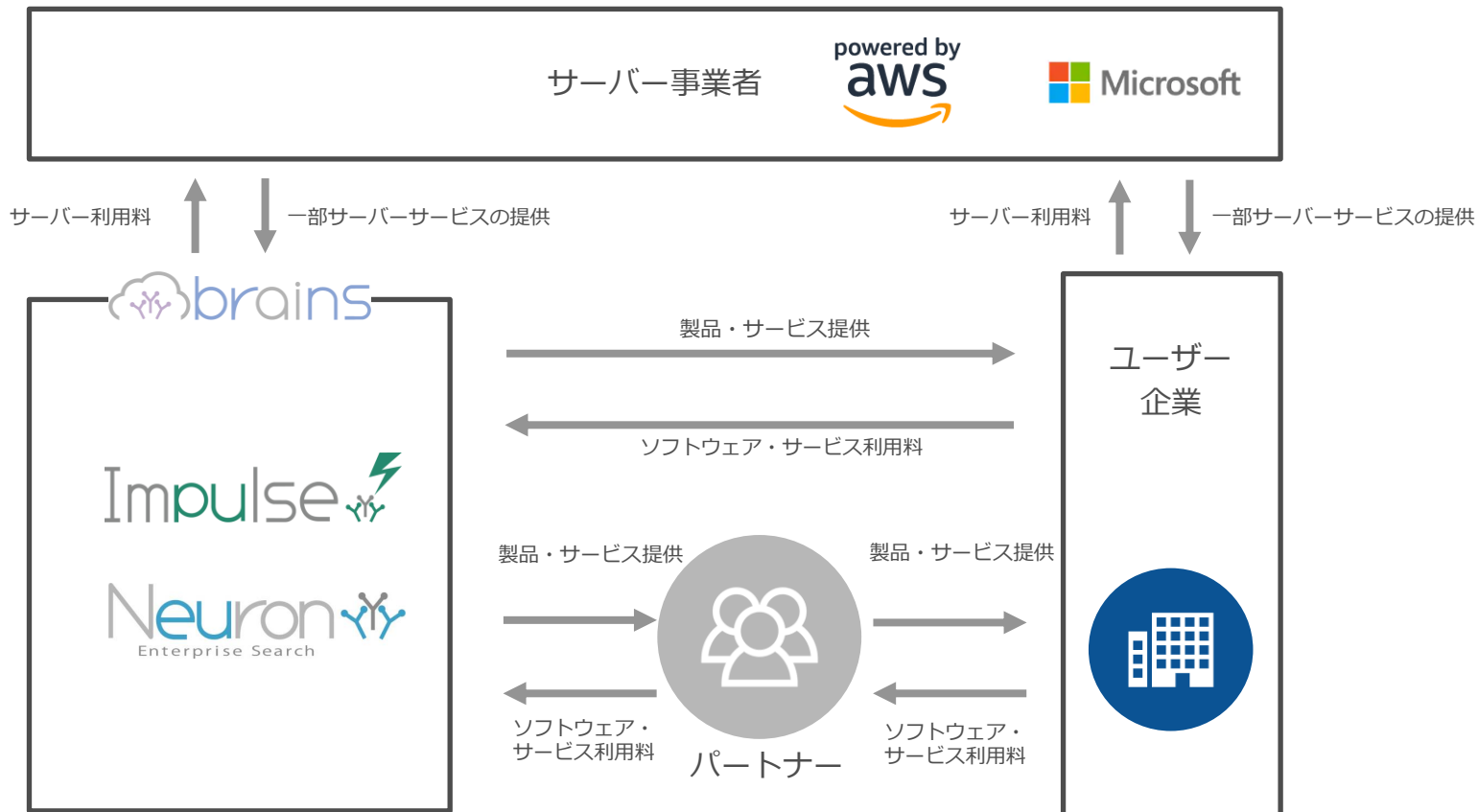
- 全社の改善活動の一環として、業務の見直し・効率化活動を行っていき中で、検索時間の効率化に取り組むことに。
- 既存の検索エンジンと比較して2倍近く検索されるように。検索スピードは以前と比較して倍以上の速さで、1,300万件あるDBも1秒以内で検索。
- イン트라ネットやファイルサーバに加えて、支店のファイルも検索し、全社の検索基盤として機能。

カシオ計算機株式会社

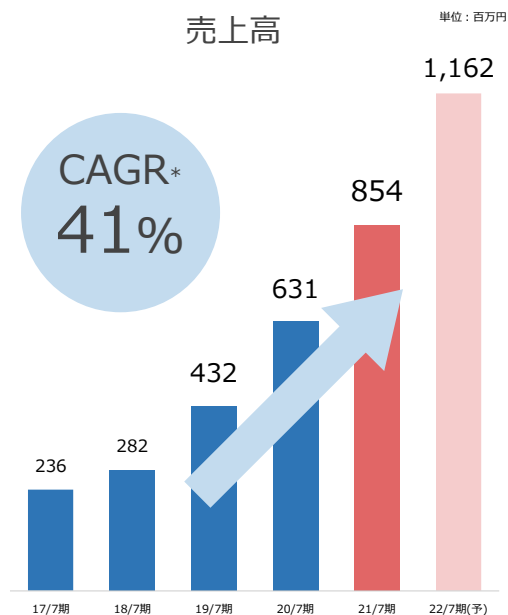


全社共通エンジン

- 掲載するコンテンツ数の急速な増加により、検索精度が低下。情報に辿り着くのが困難な状況の改善に向けて導入。
- 既存の検索エンジンの性能や検索品質を大幅に改善。検索精度は200%向上（カシオ計算機様検証結果より引用）。
- 数万ページに及ぶポータルサイト、社内公開サイト、ファイルサーバの検索を全てNeuronESで実現。



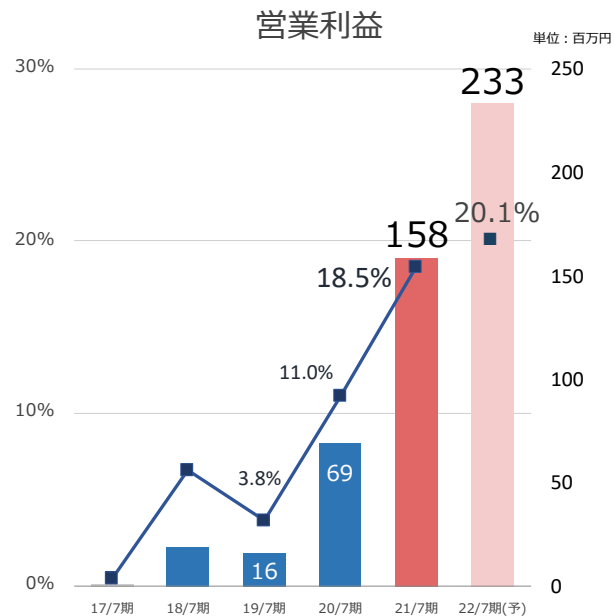
主な成長性・収益性の指標として、売上成長率及び営業利益率を重視



CAGR*
41%

売上前年比

35.3%
20/7期→21/7期

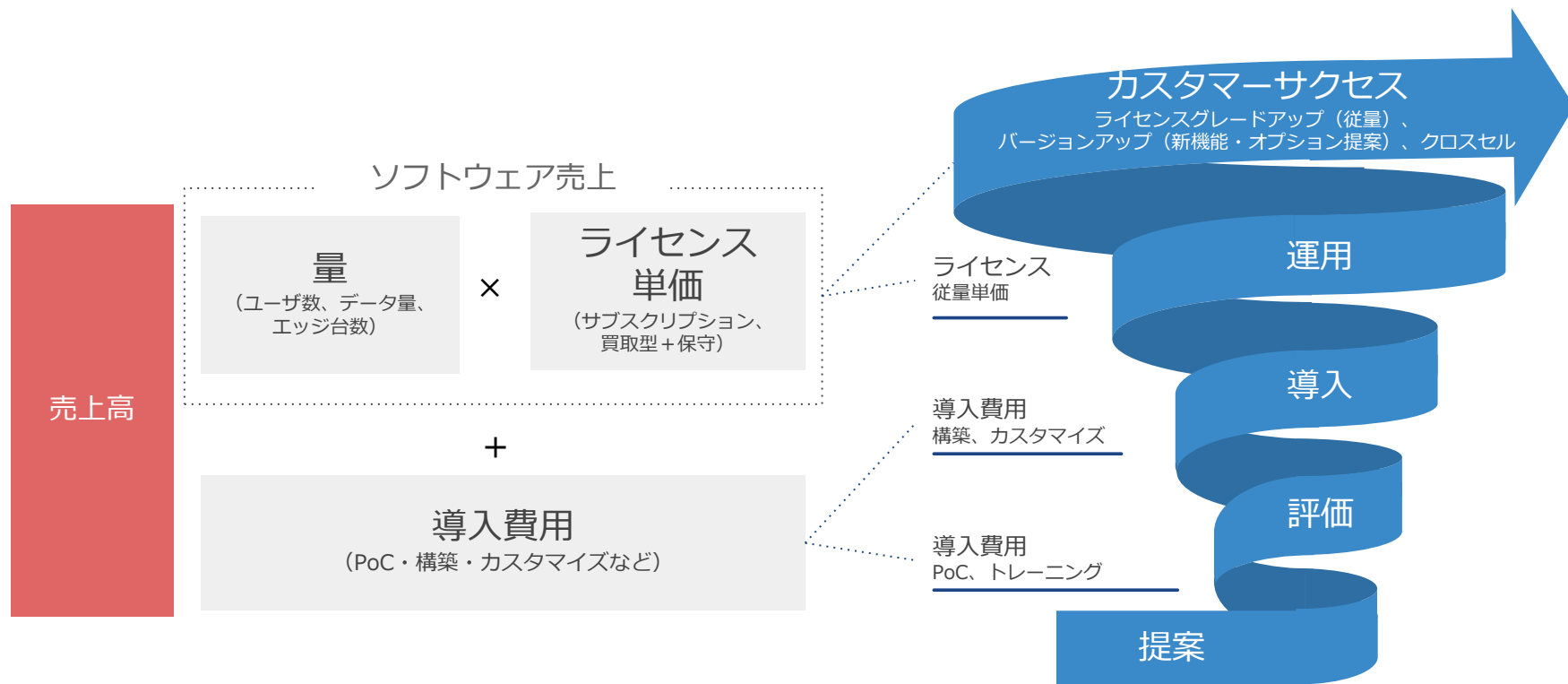


営業利益率

18.5%
21/7期

*19/7期から21/7期の年平均成長率

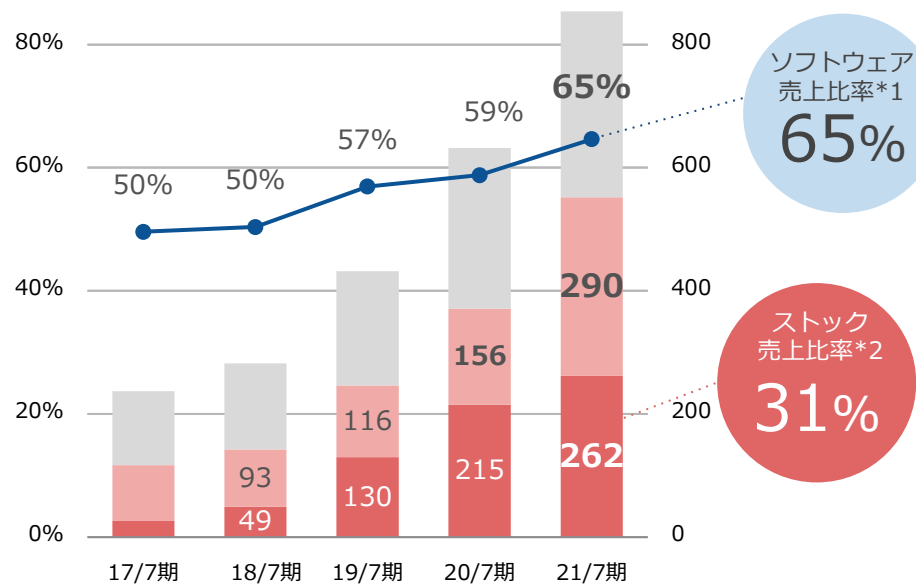
利用範囲の拡大や工場・拠点展開によりライセンスが増加



人に依存せずに事業スケールが可能 ストック（固定）売上、ライセンス販売数も着実に伸長

売上構成

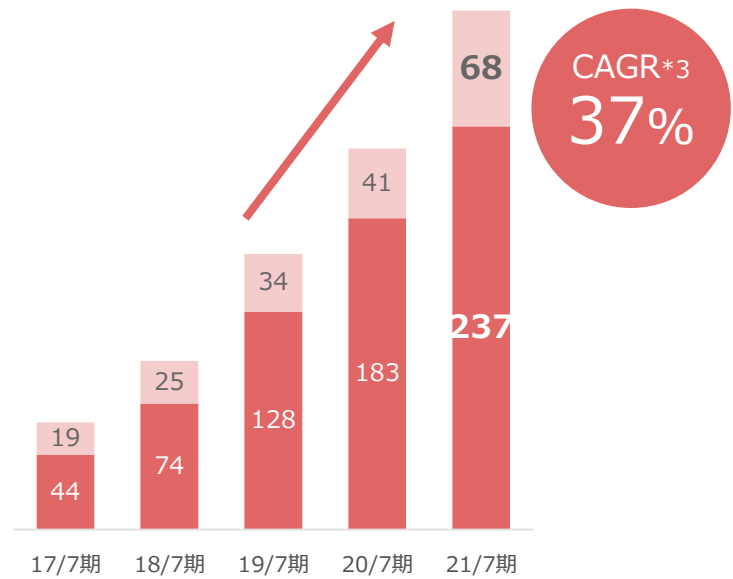
(単位：百万円)



ソフトウェア
売上比率*1
65%

ストック
売上比率*2
31%

ライセンス販売数



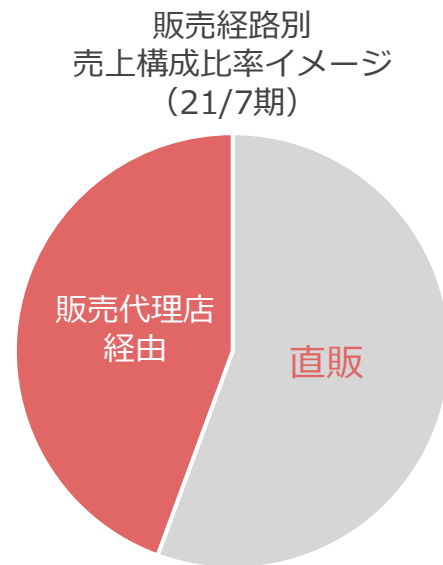
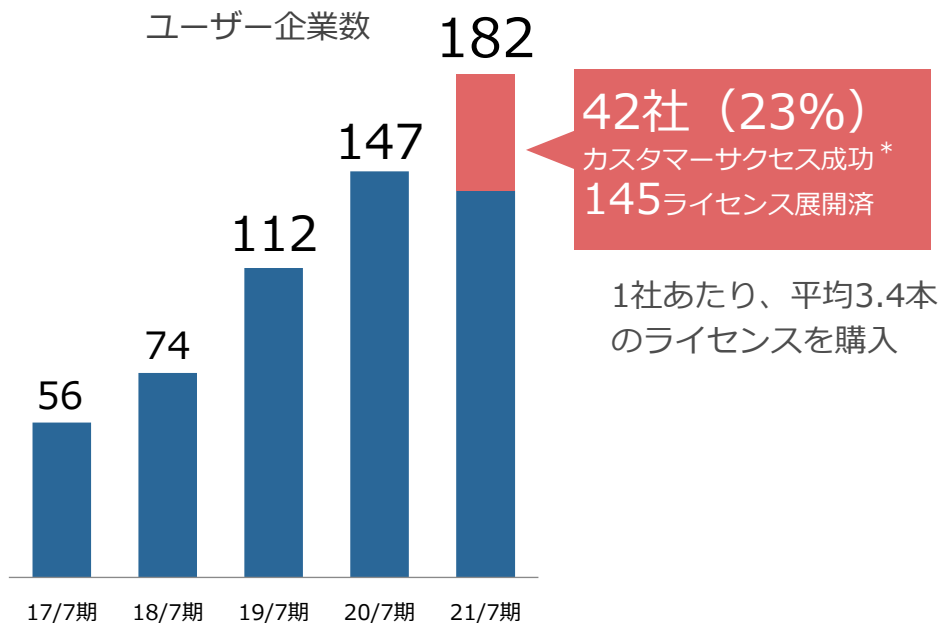
CAGR*3
37%

■ ソフトウェア売上 (ストック) ■ ソフトウェア売上 (買取)
■ 導入売上 ● ソフトウェア売上比率 (左軸)

■ ストックライセンス数累計 ■ 新規買取ライセンス数

*1 ソフトウェア売上：買取ライセンス+ストック売上
*2 ストック売上：利用料+保守ライセンス売上
*3 19/7期から21/7期のライセンス販売数の年平均成長率

直販を主体に182社の顧客基盤を構築



*追加ライセンスの購入

特徴・強み

1

差別化を支える技術

2

現場に求められる製品






3

変動に強い顧客基盤

1. 「頭脳」を作成する特許

データサイエンティストに限らず、誰でもAI技術を活用するための
オートモデリングの機能を開発し特許を取得

<機械学習モデルの設計・構築プロセス>

-  **データ整理** : 教師データの準備、収集
-  **方策決定** : 機械学習のアルゴリズムを選ぶ
-  **特徴量決定** : 必要なデータの選別、整理
-  **チューニング** : パラメータのチューニング
-  **モデル運用** : 推論と最適なモデルの選別

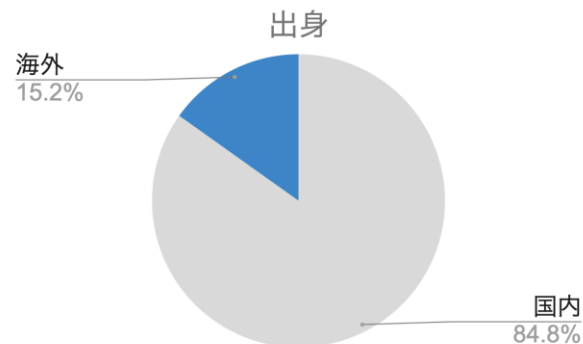
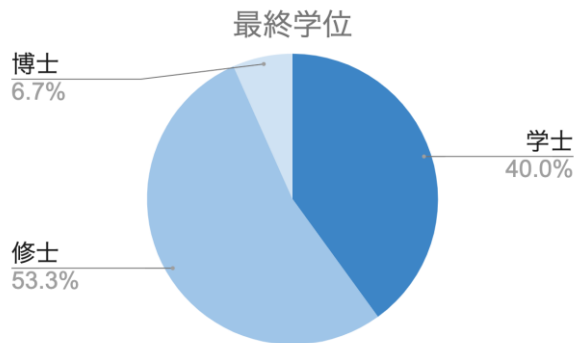
特許第6315528号



(特許第6315528号：異常検知モデルの自動構築に関する特許)

全社のおよそ7割（34名）がエンジニア^{*}

研究開発や製品開発に携わる陣営は、海外の大学も含む専門性の高い優秀なメンバーで構成されています。



未来ラボ

・新製品・新機能の開発、技術調査・研究開発（21名）

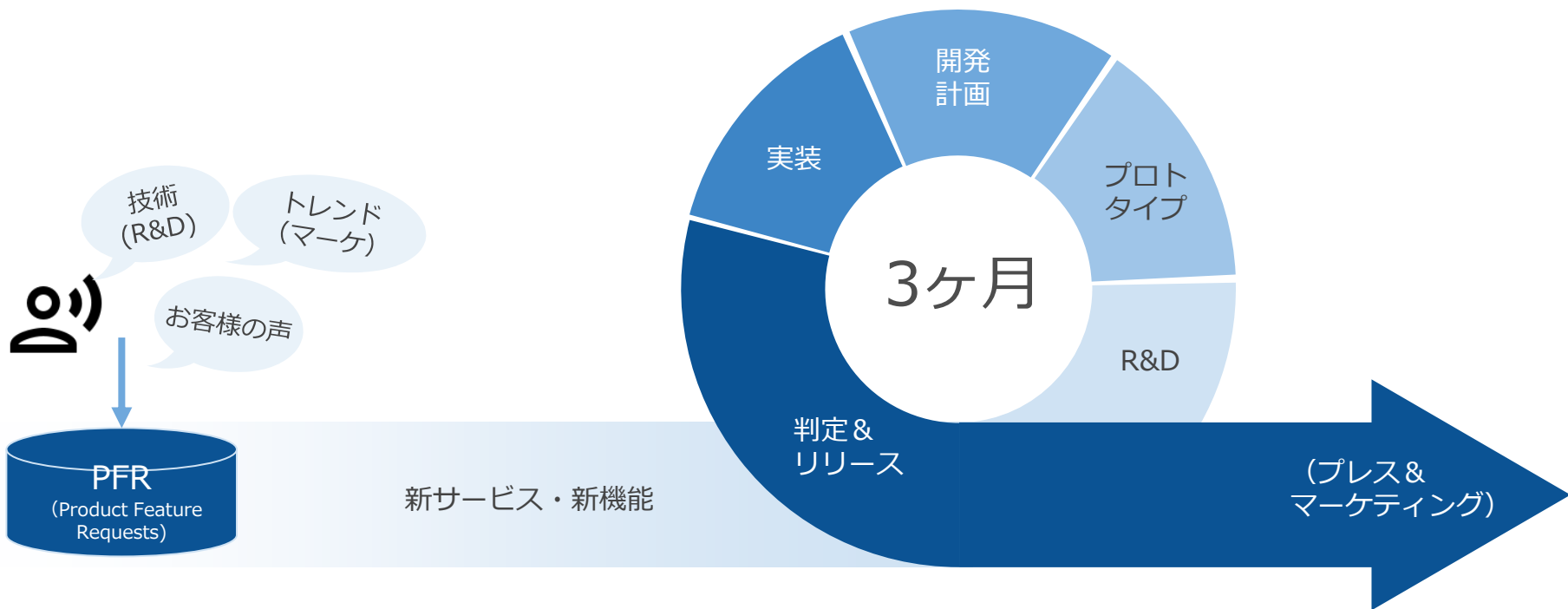
製品開発部

・製品のエンハンス、製品の導入・保守（13名）

*2021年7月31日現在

1. プロダクト思考プロセスとクイックリリース

顧客価値に直結するプロダクト思考で3ヶ月サイクルで製品化
顧客ニーズと最先端の技術をいち早く市場に提供しています。



モデルの再利用



高度な分析技術が不要

- オートモデリング機能で、現場での高度な分析を支援
- アルゴリズムによる判断の見える化により、お客様自身がAI技術を理解して利用

AI技術の導入を簡単に

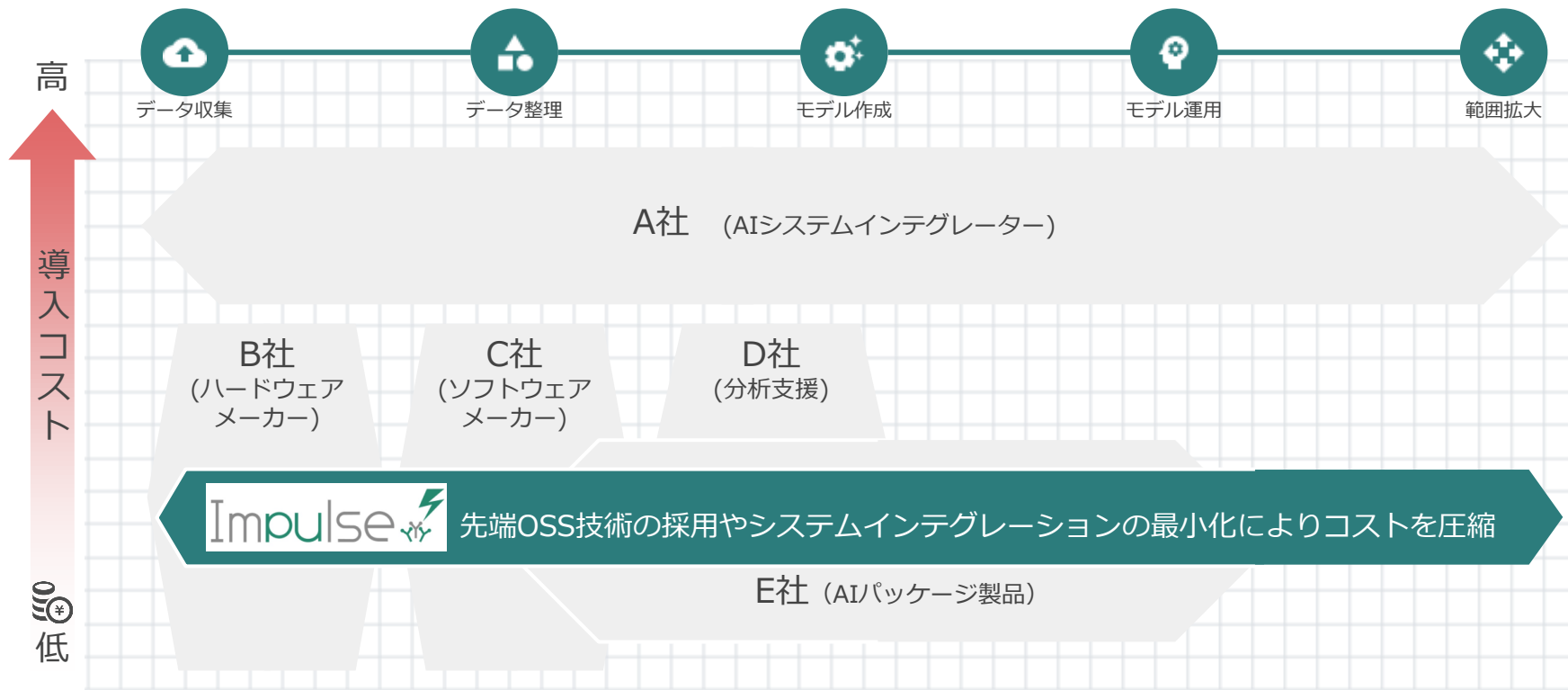
- センサー、機器、動画等多様なデータに対応。一連の操作は設定で可能
- 拡張性の高いコンポーネントモデルや公開されたAPI/SDKで、最短で1ヶ月半で自社システムに組込可能

お客様自身での運用を実現

- 当社実績に基づいた、学習モデルのチューニングリコmend
- 分析ノウハウの共有により、自社の学習モデルを資産として再利用

2. AI分析の一連のプロセスをサポート

お客様自身によるAI活用を実現
モデル運用や展開のしやすさが強み



誰でも、どこでも、簡単に使える製品
*
一般社員の3割の時間を費やす「検索」だからこそ徹底的に利便性を追求

誰でも

- 特別な研修を受けなくても、迷わず利用できるシンプルな画面
- 検索履歴によるキーワードリコメン
ドで検索サポート

どこでも

- オンラインストレージ(BOXや
SharePoint Online)が検索可能
- モバイル端末での利用

簡単に

- サムネイル表示により文書を直感的に理解
- 利用者4万人でも素早く検索

公開事例数
35社

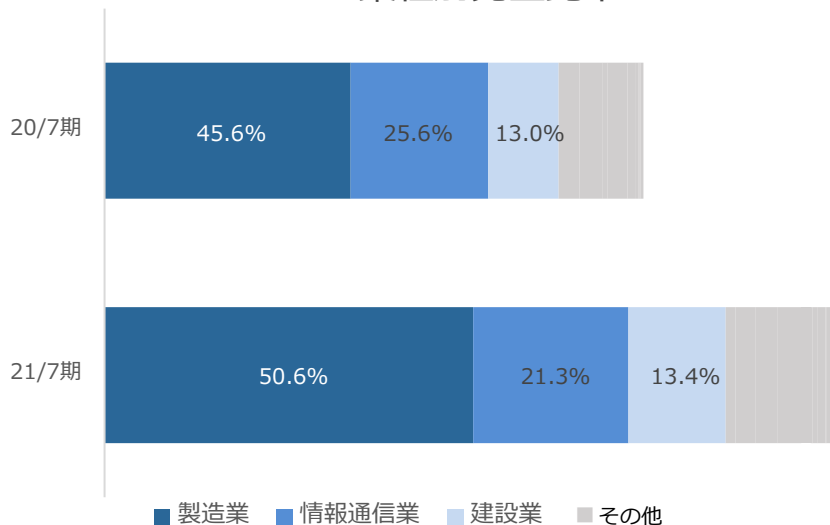


* Return on Information: Improving your ROI with Google Enterprise Search ref. google white paper

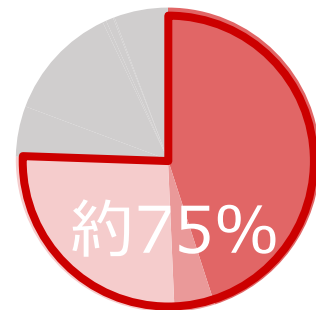
3. ユーザー企業の傾向

製造業、情報通信業、建設業を中心に業界をリードする大手企業が製品を採用

業種別売上比率



顧客規模別売上比率
(21/7期)

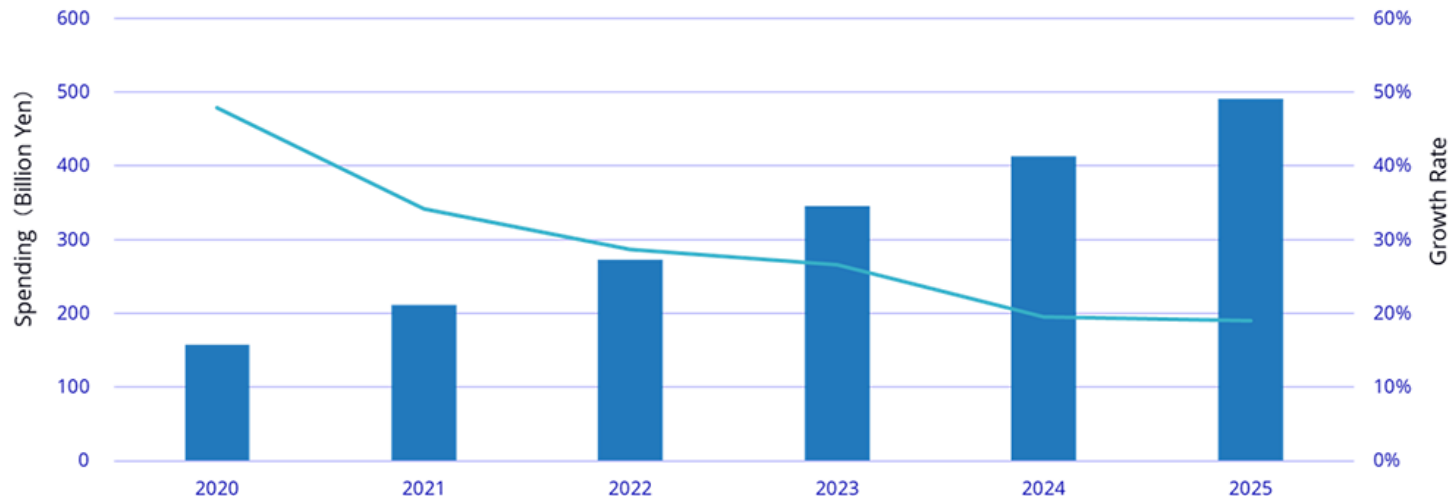


顧客売上規模

- 1兆以上
- 5,000億以上1兆未満
- 1,000億以上5,000億未満
- 1,000億未満

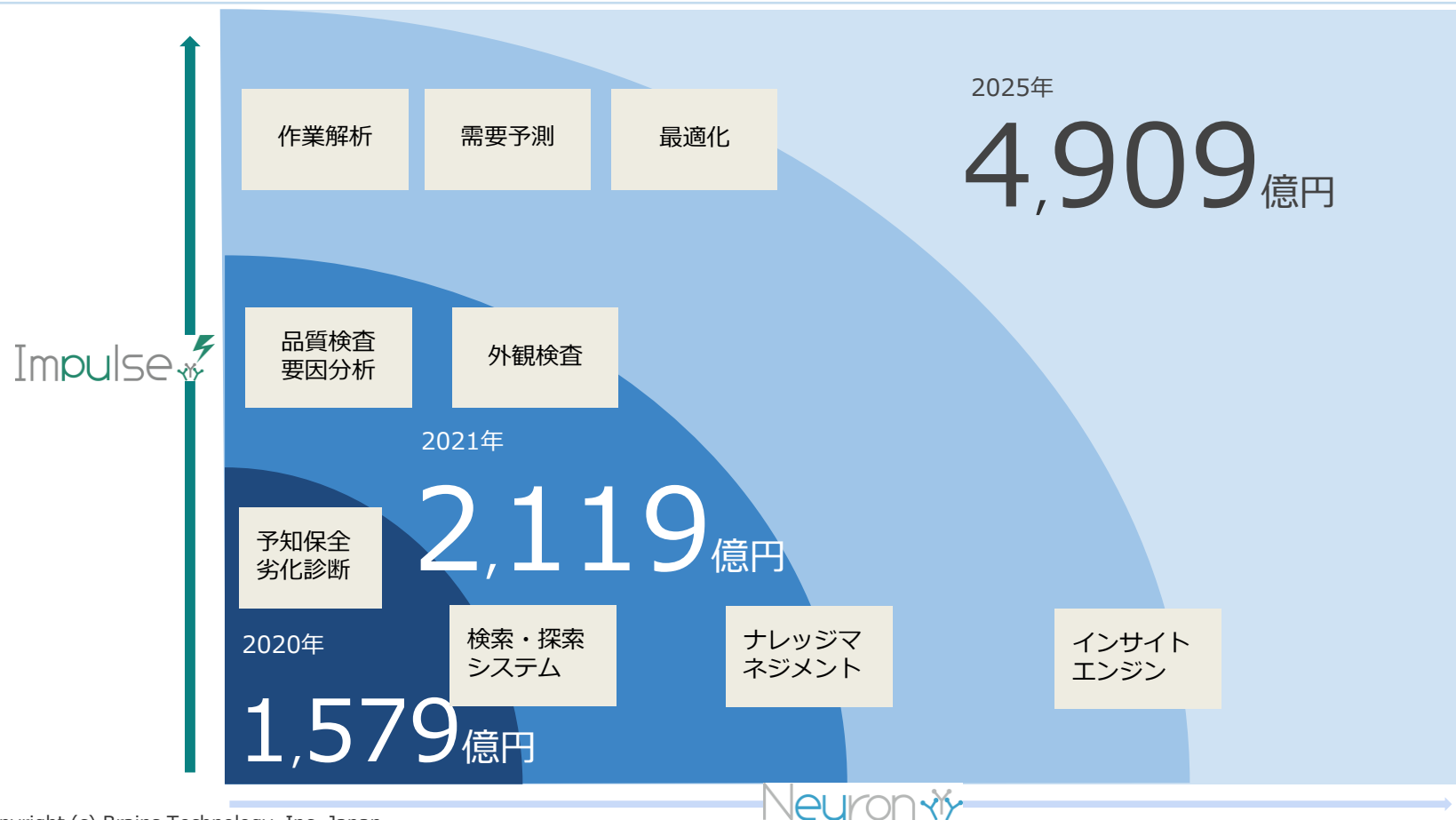
市場環境（弊社認識）

国内AIシステム市場は2020年の1,579億円から、2025年には3倍以上の4,909億円へと急拡大する見込み。今後企業がさらにAIを活用し、企業内外のビジネスと付随するプロセス変革、業務の自動化が進むと予測されている



出典：IDC Japanプレスリリース「国内AIシステム市場予測を発表」（2021年6月2日）

上図：国内AIシステム市場 支出額予測（2020年～2025年）



生産年齢人口の減少

-1,618万人 ↓

[2010年→2040年]

出典：総務省
「情報通信白書平成30年版」

ICTを活用した
テレワーカーの増加

2倍 ↑

[2019年→2020年]

出典：国土交通省
「令和2年度テレワーク人口実態調査結果」

日本政府の
AI関連予算

+147億円 ↑

[2019年→2020年]

出典：2020年2月2日産経新聞
「AI関連予算に3900億円
政府、国家戦略で成長後押し」

当社の所属する市場

世界AI市場(*1)

2020年

5兆円


2.2倍

2024年

11兆円

2020年

国内AI
システム市場(*2)

1,579億円


3.1倍

2024年

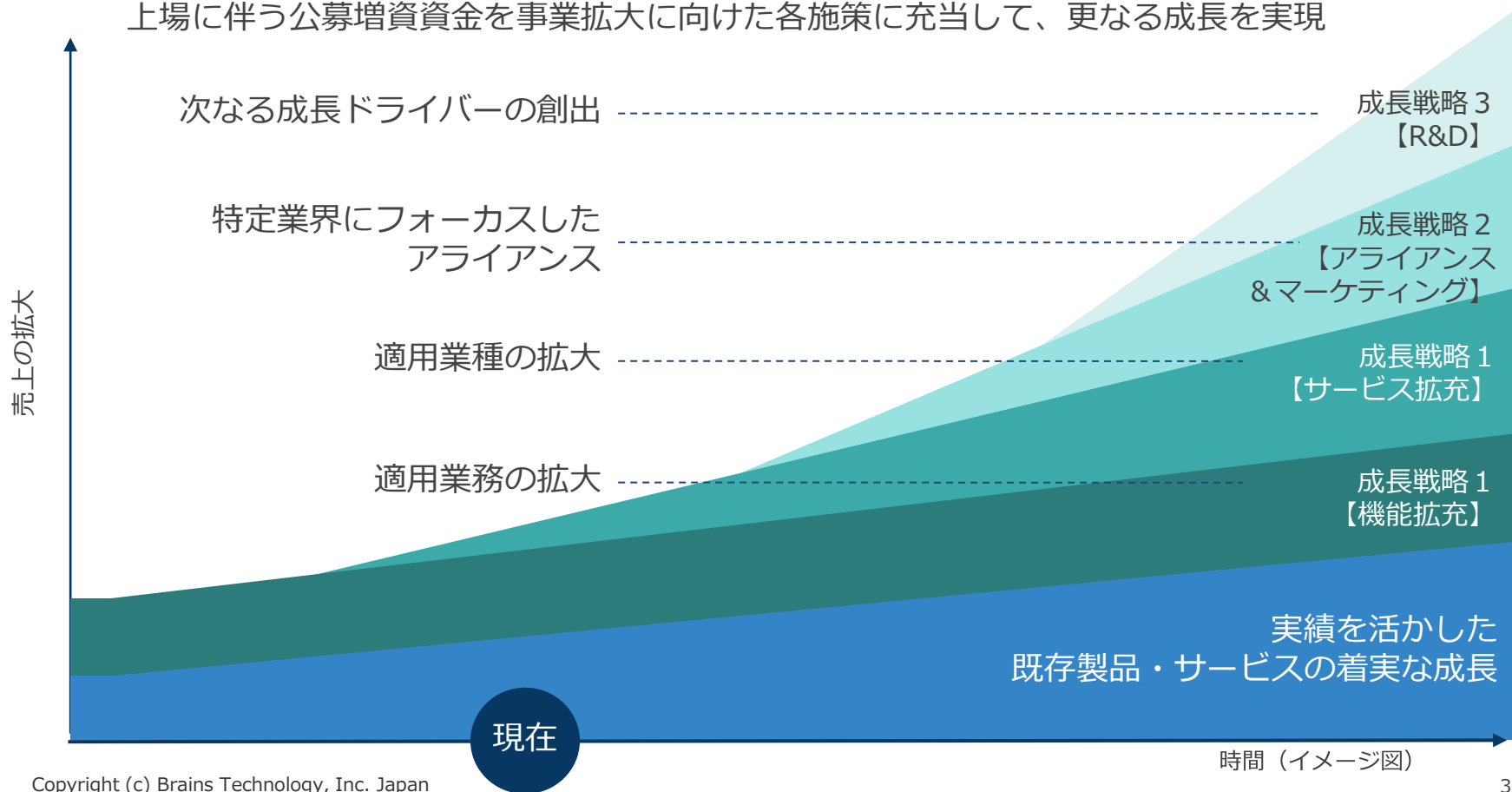
4,909億円

*1 出典：IDC Japanプレスリリース「人工知能に対する世界全体の支出額は4年間で2倍に増加し、2024年には1,100億ドルに達する見通し」（2020年10月1日）、為替レートにつき、JPY/USD=108円で計算

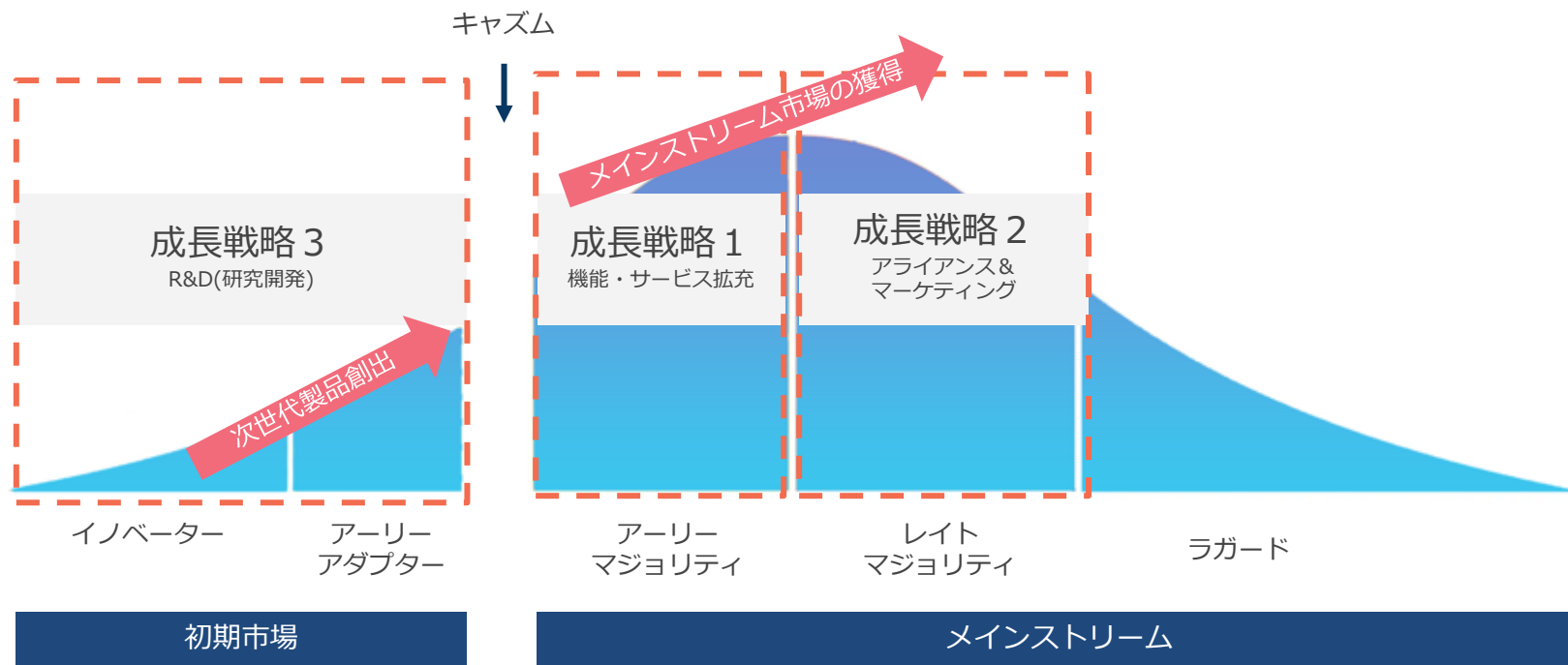
*2 出典：IDC Japanプレスリリース「国内AIシステム市場予測を発表」（2021年6月2日）

成長戦略

上場に伴う公募増資資金を事業拡大に向けた各施策に充当して、更なる成長を実現



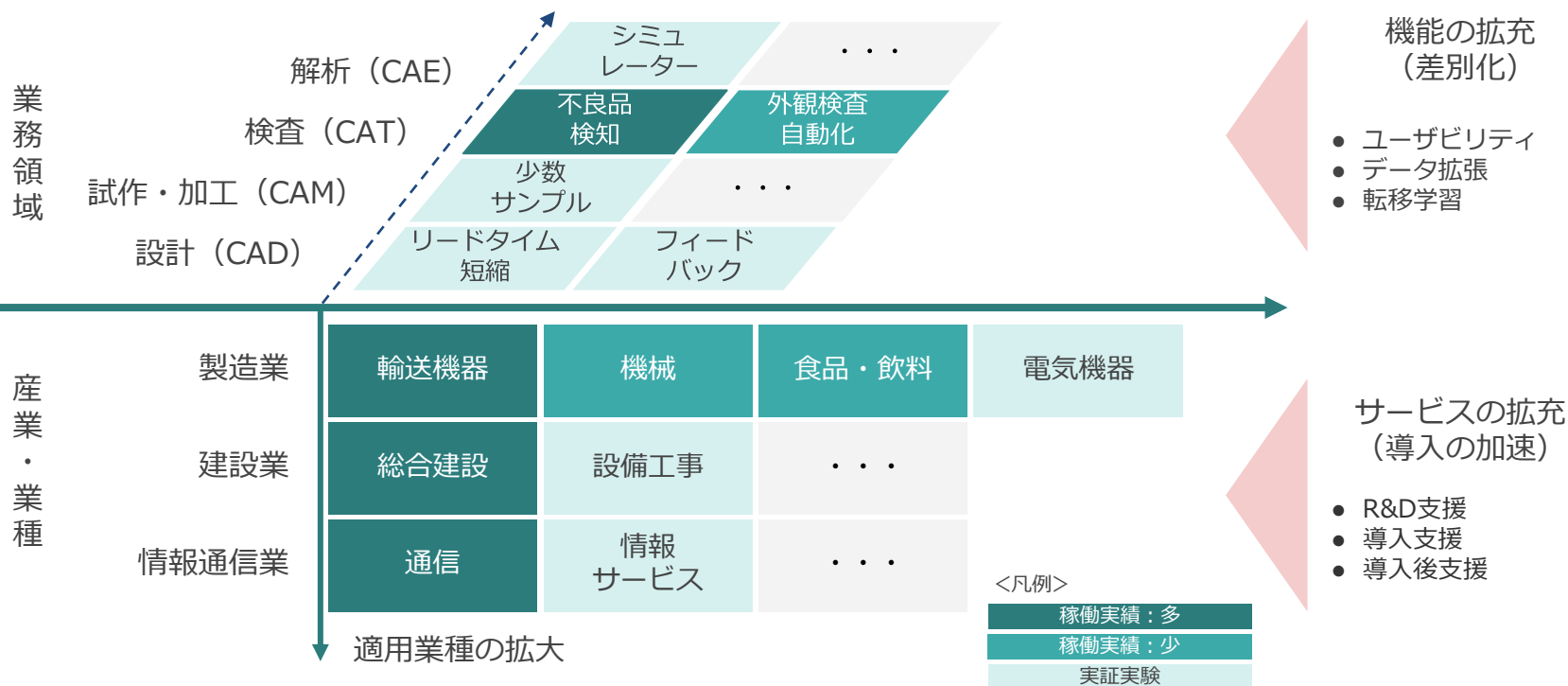
動きの激しいAI市場を牽引するため、キャズムを意識したプロダクト展開を計画



成長戦略 1. 適用領域の拡充

機能の拡充で高度化と差別化をはかり、サービスの拡充で導入を加速することで、適用業種・業務の拡大を目指していく

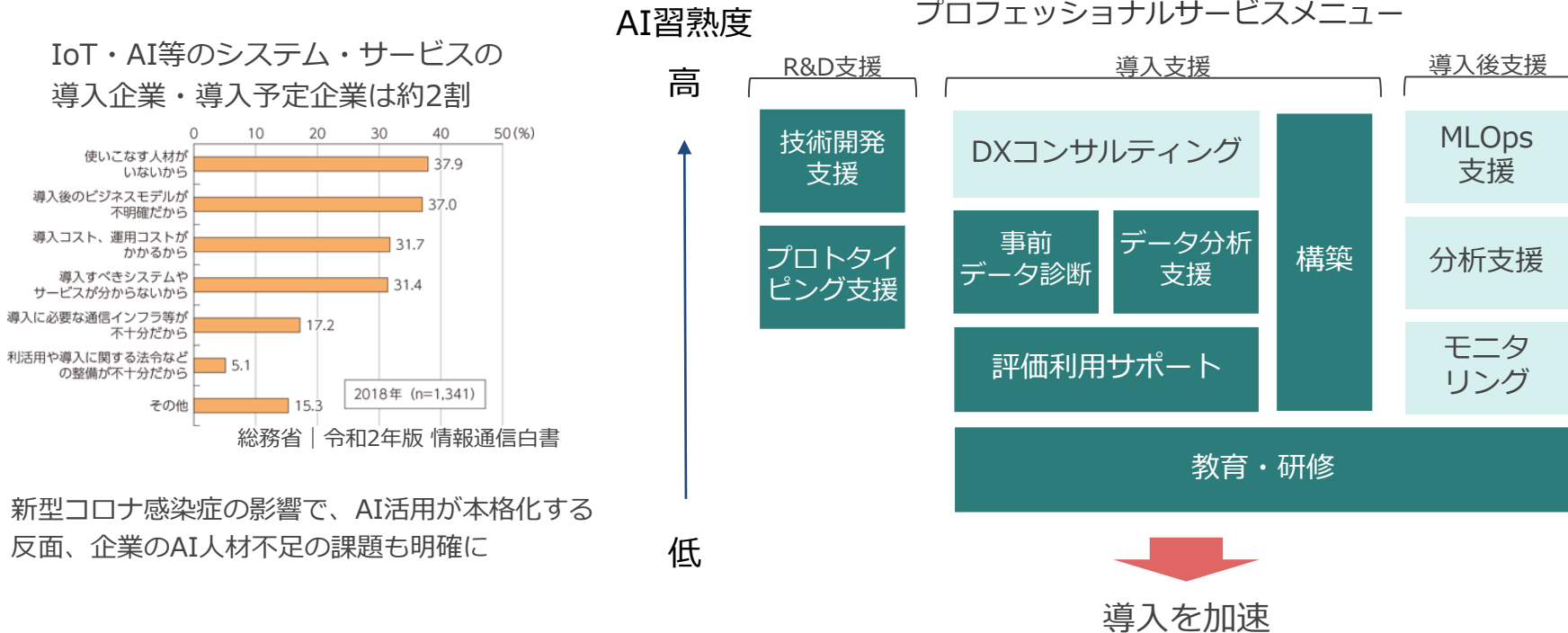
適用業務の拡大（例：製造業）



成長戦略 1. プロフェッショナルサービスの拡充

製品力で差別化をはかる一方で、サービスのバリエーションを増やすことで、お客様への導入の加速と強いエンゲージメントをはかっていく

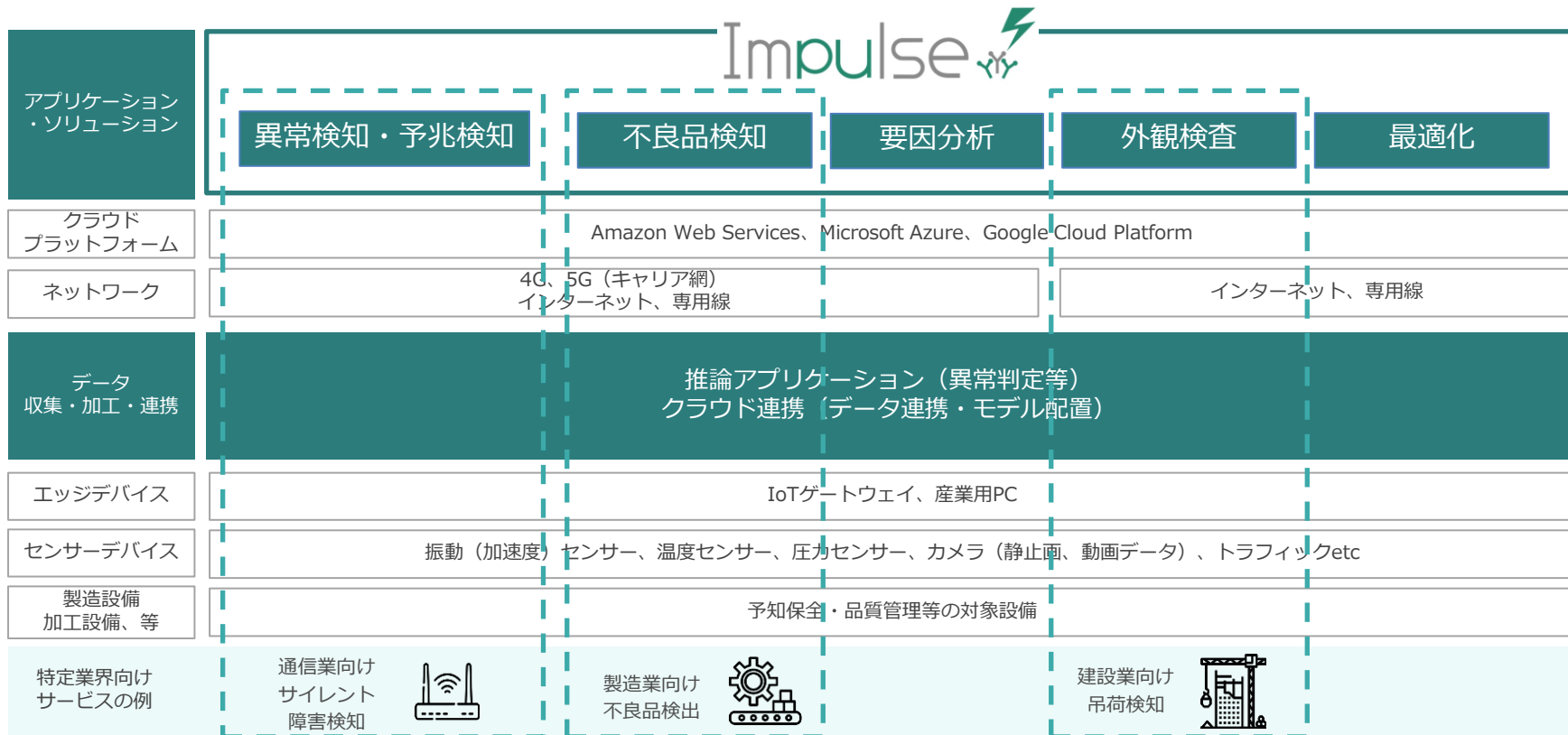
提供予定
提供中
※22/7期より



新型コロナウイルス感染症の影響で、AI活用が本格化する反面、企業のAI人材不足の課題も明確に

成長戦略 2. 特定業界にフォーカスしたサービス

より売りやすくするため、業務や機能を特定したサービスを提供し、市場の獲得を目指す





- 竹中工務店「建設ロボットプラットフォーム」
- 建設業務でのDXの一環として、リモートでのロボットの状態監視や日々変動する建設現場でのロボットの自動走行を実現
- 作業者の高齢化や労働力不足、建設現場での生産性の改善の解決を目指す



- NTTドコモ 製造機器一括分析ソリューション「FAAP™」
- データの取得から活用まで、ハードウェアとその設計・構築・保守すべてをワンストップで提供
- 5Gやクラウドによりネットワーク遅延を減少し、リアルタイムに稼働

成長戦略 3. 次なる成長ドライバーの創出

事業が継続的に成長するために、人が担当する自動化が困難な業務領域に焦点を当てた研究開発を進め、次なる製品・サービスのリリースを進めていく

定量化・自動化が進んだ品質検査

自動化しにくい・人が担当する品質検査



要素技術
キーワード

マルチモーダル データ拡張、転移学習

教師なし生成モデル 2.5次元 / 3次元 動画ニューラルネット 仮想学習環境

継続的な技術力の強化とともに、絶え間ない技術革新から生み出される先端技術をいち早く獲得・事業化を推進。R&Dチームが研究や実験結果をお客様に公開しながら、ニーズを探るアプローチとともに、情報の露出を高めることで優秀な人材の採用に役立てていく

2.5次元の理解



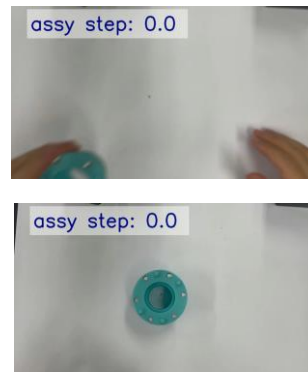
3次元の理解



微分可能 レンダリング



動画の分類



研究開発対象例：革新的な画像処理技術

当社事業に重要な影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクとその対応策は、以下の通りです。

主要なリスク

リスクへの対応策

技術革新への対応

予想以上の急速な技術革新や代替技術・汎用的な競合商品の出現等により、当社のサービスが十分な競争力や付加価値を確保できない場合には、新規受注の減少や契約継続率の低下により当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。

当社は、**先端のオープン技術(主として機械学習技術/深層学習技術・自然言語処理技術)**と当社技術を組み合わせることにより、また、**常に市場動向を注視し技術革新への対応を講じる**ことにより、今後も競争力のあるサービスを提供できるように取り組んでおります。

人材の確保及び育成

事業規模の拡大に応じた当社内における人材育成、外部からの優秀な人材の採用等が計画どおりに進まず、必要な人材を確保することができない場合、あるいは人材の社外流出等が発生した場合には、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。

社内教育等を通してエンジニアの育成に努めると共に、**積極的に優秀なエンジニアの獲得を進めて**おります。また、**従業員の働きやすさを重視した業務環境の整備等を積極的に**行うことで、**人材の外部流出防止**にも努めております。

無形固定資産 (ソフトウェア)

市場や競合状況の急激な変化などにより、今後利用が見込めなくなった場合や、収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなった場合には、除却あるいは減損の対象となる可能性があり、当社の事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。

当社は、市場競争力を強化・維持するためソフトウェアへの投資を進めておりますが、リスク未然抑止のため**将来の収益獲得又は費用削減が確実であると認められた開発費用のみを無形固定資産へ計上**しております。

上記の各リスクはいずれも、顕在化の可能性は低～中程度、顕在化の時期は中長期と認識しております。

上記以外のリスク情報については、有価証券届出書等の「事業等のリスク」をご参照下さい。

- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。
- 当資料のアップデートは今後、本決算の発表時期を目途として開示を行う予定です。

Appendix

生産現場や製造設備の高度化・省人化に向けた利用

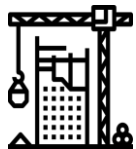


製造業
プラント

- 生産設備の状態監視基盤として、現状の仕組みで把握できていない異常状態を検出
- カメラを使った検査工程で、画像データから異常を検出
- プラント設備において、操業状態の監視及び異常予兆の検知、要因分析するデータ分析基盤
- AI/IoT 部門に集約される多様な事業データの分析基盤



施工現場の高度化・省人化に向けた利用



建設業

- タワークレーンや工事用エレベーターの故障予兆検知基盤
- 施工現場で稼働するロボットの自律走行



監視業務の高度化による安心・安全に向けた利用



情報通信業

- ネットワーク機器の故障検知基盤（サイレント障害）
- 大量な情報からの自動的かつ迅速な事象切り分けを行う基盤



働き方改革やデジタル変革をテーマに、検索時間の短縮や記憶に依存しない新たな情報の発見による社員の生産性向上でご利用いただいています。

全社統一の
検索プラットフォーム



NTT Data
Trusted Global Innovator

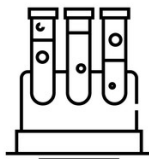
MORI

子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

CASIO

検索時間の多い部門
(研究開発、システム開発、
メンテナンス他)



DENSO
Crafting the Core

CHIYODA
CORPORATION

AsahiKASEI

海外製品の検索

HCL Notes

Microsoft

box



Neuron ES
Enterprise Search

